すみだ向島 EXPO2020

The Sumida Mukojima EXPO 2020

「隣人と幸せな日」

Blend into the neighborhood

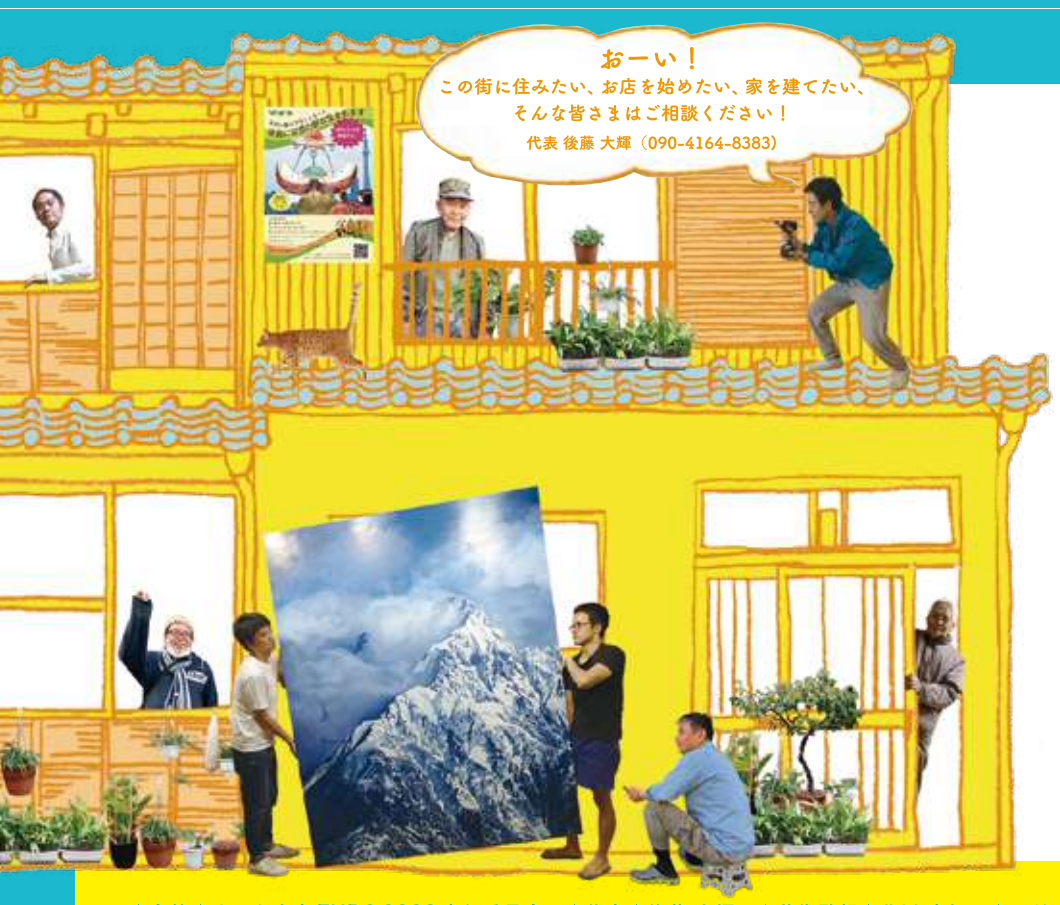
［体験型芸術祭］すみだ向島EXPO 2020

2020.9.12(土)～10.11(日)※水曜日休み

｜会場｜東京都墨田区曳舟エリアの街中会場約40箇所
（七軒長屋、小倉屋、すみだ生涯学習センター・ユートリヤ、約20軒長屋やアートスペース、18軒の軒下空間）

｜時間｜10:00～18:00(最終受付16:00)※ユートリヤドームのみ 18:00～20:00

※新型コロナ感染症の感染拡大状況によって、内容等変更になる場合もございます。企画内容、チケット等の最新情報については公式ホームページをご確認ください。



語り継がれる、まちとアートの融合したイベント向島博覧会から20年――
今も「お隣さん」づきあいが生きる東京すみだ向島エリアは、
きびしい戦禍をくぐりぬけ、"長屋文化"とともに独自の進化を遂げ続けてきました。
そして現在、コロナ禍をうけ、人と空間と時間の関係が問われる現状だからこそ
体験型芸術祭「すみだ向島 EXPO 2020」を開催します。

本EXPOのテーマとした「隣人と幸せな日」とは、
わたしたちが限定されない世界で暮らしていくその先にある、
現代版「醤油の貸し借り」であり、「火事場の運命共同体」となる関係性への、希望です。
その先へと紡ぐ、新たなコミュニケーションについて――。
アートや実験的な現場を通した問いを、ぜひ体感してください。

コロナ禍だからできる事を考えました

①小さな受け入れ：入場予約30分につき限定8名。まちや観客に安心を。
②日時指定：少人数で空間と作品と向き合う体験を。
③来場特典：コンシェルジュのおすすめカフェ飲食チケット、蘇るコッペパン試食。
④非来場者特典：状況変化によって来れない方へのコンシェルジュによる特別な返礼。
［例］飲食店チケットや限定グッズ＋後日使える宿泊、街の穴場ツアーチケットを郵送にてお届け（実はお得です！）
※③・④はどちらかになります。

｜主催｜すみだ向島EXPO 2020 実行委員会　｜代表｜後藤 大輝　｜芸術監督｜北川 貴好　｜アドバイザー｜長谷川 逸子
｜会期｜2020.9.12(土)～10.11(日)※水曜日休み　｜時間｜10:00～18:00(最終受付16:00)※ユートリヤドームのみ 18:00～20:00
｜開催場所｜東京都墨田区曳舟エリアの街中会場約40箇所（すみだ生涯学習センター・ユートリヤ、七軒長屋、小倉屋、約20軒の長屋やアートスペース、約18軒の軒下空間）
｜助成｜公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益財団法人花王芸術・科学財団
｜後援｜墨田区、NPO法人 向島学会　｜協賛｜深井 輝久、株式会社エイゼン、暇と梅爺株式会社　｜協力｜NPO建築とアートの道場、京島長屋文化連絡会、すみだノート

日時指定パスポートチケット ●前売 2,500円（※限定50枚）●大人 3,300円 ●大学生・専門学生 2,000円 ●高校生以下・障がい者 1,000円（税込）
※3歳以下は無料 ※飲食特典付き ※無料エリアあり

公益財団法人 花王 芸術・科学財団

［販売方法］●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、30分に8名までの入場制限・日時指定パスポートチケットを導入。●公式HP経由の外部チケットサイトで購入 ※キャンセル不可（非来場者特典あり）
●日時指定は一回のみ変更可能（メール利用）、指定日時を過ぎてからの日時変更不可。●パスポートは来場日のみ有効。再来場の場合は、「高校生以下料金」にて日時を再度予約のうえ、前回のパスポートと身分証明書を持参してご来場下さい。来場特典は再度付与されます。●一部作品・会場は、時間・曜日によって観られない場合があります。※ユートリヤ会場は9月28日（月）休み ●パスポート購入者のみ観覧可能なオンラインコンテンツあり（全会場作品紹介映像のオンライン上映は会期後）。

［ご来場者へのお願い］
●パスポートチケット購入者へ事前にアンケートのご協力をお願いします。●各会場人数制限を行っているので、必ず予約日時を守って来場ください。●来場の際は、最初に指定のインフォメーション（地図上i-2またはi-3）にて、パスポートと交換、来場者登録を行ってください。登録完了後、指定の巡回推奨ルートをお渡しします。●マスク着用（持参）の上、グループでお越しの際は4人以下でお願いします。●各会場のスタッフおよび注意書による感染症防止対策を守ってご観覧ください。遵守頂けない場合は参加自粛をお願いする場合がございます。●予約当日に体調の優れない方は、無理をせずオンライン観覧、観覧日時変更など切り替えを行ってください。
※博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを元に、マスク着用、手指消毒、体温測定、スタッフの衛生管理、清掃時間の確保など、各種感染症 防止対策を実施します。

完全予約制チケット購入や詳細はこちら
https://sumidaexpo.com
sumidaexpo2020
EXPO20270553350

隣人サポーター募集中!! くわしくはHPまで

［お問合せ窓口］すみだ向島EXPO 2020 実行委員会 ☎070-4563-6368 sumidaexpo@gmail.com（担当：渡邉）

アーティストプロジェクト Art Collaborative　アーティストが人間の多様性を受容した住環境を考察する
隣人プロジェクト Neighborhood Exchange　人と地域が連携するエリアの回遊やオンラインでの交流を提供する
建築プロジェクト Architecture Project　地域の隣人や建築家が東京の民家・長屋文化を未来へ継承させる

事前チケット購入!! → インフォメーションへ! i-2 i-3 → 3エリア会場巡り!!

日時指定チケットをご購入の上、i-2 i-3までお越しください。 i-1 i-2 i-3では順路MAPと無料エリアのご案内をしています。

i-1 ユートリヤ インフォメーション［軒下東向島エリア出発ポイント］
i-2 七軒長屋 インフォメーション［明治通りエリア出発ポイント］
i-3 小倉屋 インフォメーション［京島文花エリア出発ポイント］

東向島駅エリア、押上エリアはそれぞれ直接訪ねてください。

① 軒下プロジェクト　無料　全日

軒下東向島エリア 川上桃子、河村ゆうこ、靴郎堂本店、清水みさよ、萩田芽衣、ホ・テウォン / Taewon Heo、村上 郁、望月みく、森脇環帆
軒下京島エリア 石田健祐（いしけん）、大野将章、岳 明、かみむらみどり、栗原莞爾、佐俣和木、谷山恭子、ヤマダ モイ、羊端兒 / YANG Qinhua
企画：開発好明　進行：長加誉、伊澤淳子

展示する場所を探しているアーティストと、展示するアート作品を探している地域の人との橋渡し。展示される場所はオーナー自身の建物の「軒下」です。地域住民の日常空間に現れたアート作品を鑑賞しながら、同時にまちも味わえます。

※各インフォメーション及びWEBにてMAPを配布しています。
軒下インフォ@icou 東向島 5-48-4（不定期オープン）

② 隣人コンシェルジュ　無料　全日

コーディネート：三田大介　［各インフォメーション］

【スペシャル特典ポイント】ご贔屓の店を持つコンシェルジュたちが、鑑賞者おひとりずつにオススメする地域のお店を見立て、個別の飲食体験引き換えチケットを発行（※鑑賞券に含まれます）。散策のなかでお店を訪ね、特典サービスを受けてください。墨田区曳舟エリアを中心に、個性的な飲食店、地元の人たちと連携する、EXPO限定企画。

③ 丁寧な間合い―死と食と刀― 体験イベント編　別料金　指定日開催

EAT&ART TARO、後藤 佑介　展示は㉕［旧邸稽古場（八広 2-45-9）］

日本刀で斬るということは、相手に近付いて「間合い」を図りつめるということ。いっぽう食事とは、人同士の距離を近付ける、親しい関係作りという意味を持っている。この体験型プログラムでは、日本刀を扱うレクチャーを受けてから、食という時間を通して己を問い直し、実際に巻藁を斬ることによって、死について考えることができる。
●11時開始：9/12土、15火、19土、22祝、29火、10/11日
●18時開始：9/25金、10/6火（所要時間2時間半）
※参加費 EXPOチケットあり ¥4,000、なし ¥5,000

④ 宿の家（宿泊体験型）　別料金　全日

北川貴好　展示は㉜［平屋別館（京島 3-57-9）］

14,500円（税込）1棟レンタル1泊朝食付
※2人目から1人増すごとに +4,000円（最大4人まで）
※夕食代として各自800～1,500円ほど、別途必要

宿泊アクションで完成させる、非日常の「民泊アート」。かりそめの宿りにおいて付き従うべきハウスルールを、アートの文脈で解体、再構成。「宿り主（アーティスト）」が設定したハウスルールを「宿り手（宿泊者）」として体験可能。大正時代の平屋民家をリノベーションしたアート作品のなかで能動的に、仕掛けの変化や外部との繋がりに触れてください。あなたの宿泊体験によって、はじめて完成するインスタレーション作品です。予約＞https://yadonoie.net

⑤ KAB ART BOOK CAMP（連携企画）　金土祝前日のみ

［キュレーション/KAB代表］嘉藤笑子［名誉校長］萩原朔美　すみだ文化芸術活動助成事業
［オンライン日替講師］出月秀明、河地貢士、栗山斉、パルコ木下、松本力ほか

12,500円（税込）1棟レンタル1泊
※2人目から1人増すごとに +5,000円（最大2人まで）
すべてKAB年会費込。開始16:30、終了翌12:00。

［主催：KAB Library and Residency(京島 2-24-1)］
宿泊型施設に滞在し、所蔵庫に展示されたアートブックを参考に、オリジナルアートブックの構想を練る。オンライン授業で講師陣の特別授業を受講する。宿泊者は、ものづくりの発露を実体験することで、独自のエスキースやドローイングを期間中に展示していく。講師は日替わり。
［予約］http://kab-air.com

⑥ オンライン関係住人ツアー（英語&日本語）（連携企画）　別料金　指定日開催

後藤大輝、Caitlin Adkins、高野睦子、Joe McReynolds　主催：京島長屋文化連絡会　すみだの力応援助成事業
www.kyojimatour.wordpress.com

参加料金：1,000円（税込）
●9/19土 9:00～ ●9/26土 15:00～
●10/5月 9:00～ ●10/8木 14:00～

地域に愛着を持つ人のことを「関係住人」と呼びましょう。好きなお店、好きな場所へと継続的に通っていた人。祭事の時に戻って来ていた人――。そんなあなたに現地ガイドと遠隔ガイドが連携して、リアルな地域の魅力を体験できる出会いを作ります。現地配信カメラが目のように動いて映像配信をするため、離れていても、身体的な理由で動けなくとも、参加者が隣人となり関係住人として地域に入っていける、オンラインツアー事業です。

⑦ 未確認開通 !? 京島駅　全日

VR 東²京　［オンライン&京島周辺］

今日の一般的な解釈において、その駅の存在はまだ証明されていない。嘘とダジャレと楽観的妄想が織りなすオンライン京島駅。MADACAを手に入れリアルと仮想の間で迷子になろう。時空を超えてフラットホームにたどり着けば、待っているのは京島U.F.O（ウキウキ・フシギナ・オモテナシ）
西口改札はこっちの方 →→→→→→→→→→→→→

⑧ オープニングドームイベント　無料

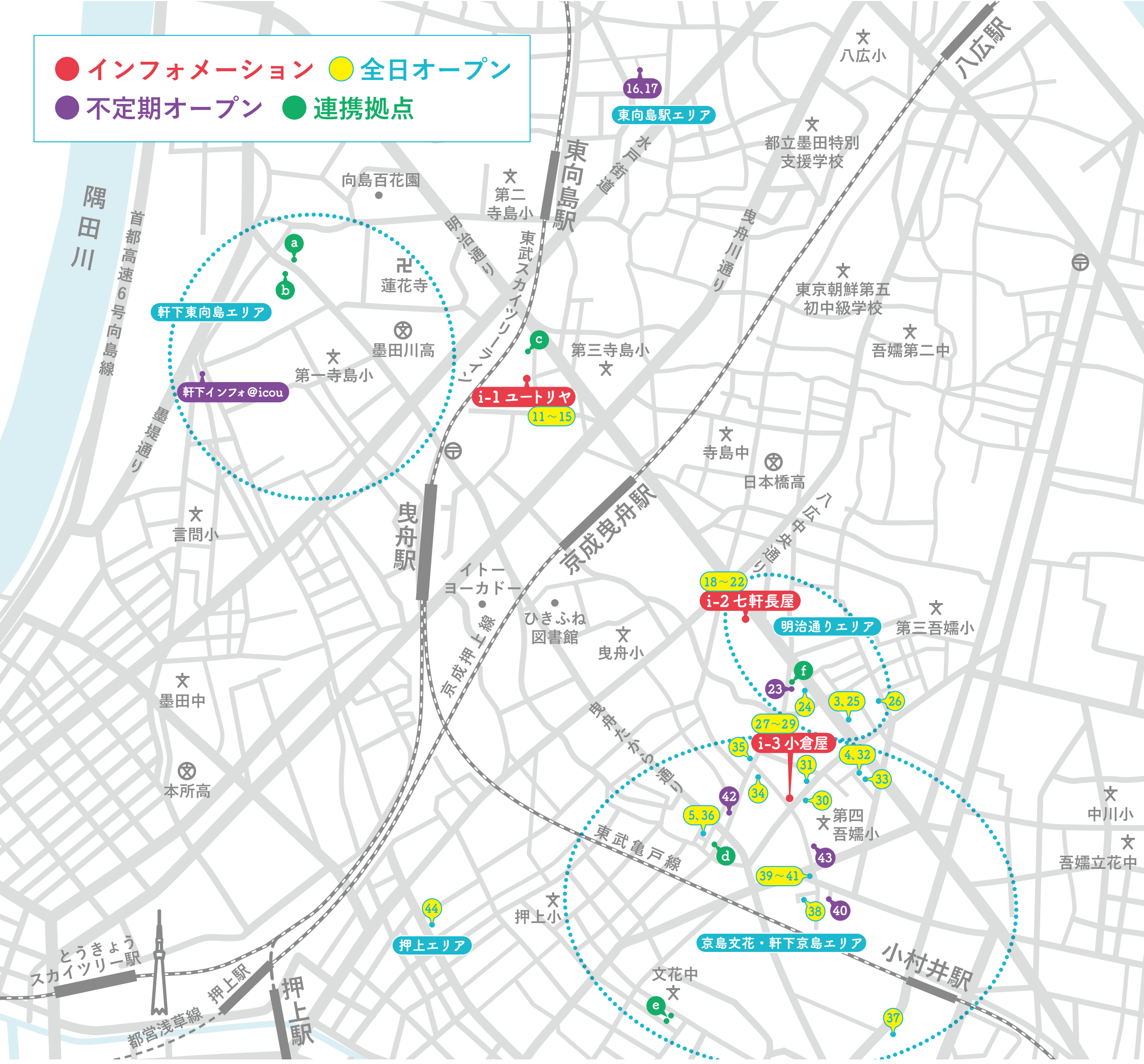
● 9/12(土) 18:45～19:30 ユートリヤ 4F ドーム
オープニングイベント

⑨ 長屋文化継承トークイベント　無料

● 9/27(日) 10:00～12:00 ユートリヤ 1F 展示ギャラリー
「長屋文化継承チーム」ディスカッション

⑩ クロージングドームイベント　無料

● 10/10(土) 15:00～16:00 ユートリヤ 4F ドーム
世界中継オンライン集会ドームイベント



ユートリヤエリア

i-1 ユートリヤ
インフォメーション
〔軒下東向島エリア出発ポイント〕

軒下プロジェクト東向島エリアのMAP無料配布してます。ユートリヤ会場は無料。
〔東向島 2-38-7〕 ※9/28(月)休み

⑪ 長屋文化継承エキシビジョン 無料 全日
東京型家、再現ハト屋プロジェクト、超時空サロンバーバーアラキ nof architects ほか 〔ユートリヤ 1F 展示ギャラリー〕

すみだ向島の建築や長屋文化のうち、何を残すべきか。そして残したものをどう活用するか――をテーマに、リノベーションのみならず、新築や街の風習、活動も含め考察した結果をパネルや模型、映像などで展示する。

⑫ 建築家と考える住宅・建築・まち 無料 全日
長谷川逸子ほか（主催：NPO 建築とアートの道場、すみだ向島 EXPO 2020 実行委員会）〔ユートリヤ 1F 展示ギャラリー〕

コロナ禍における公共施設には、情報の発信地としての必要性がある。建築家達による地域性をテーマにした住宅建築などのレクチャー映像を複数上映。①そこで考えた建築②すみだ向島風景をつくるレクチャー③長谷川逸子の公共建築ビデオ

⑬ 建築家長谷川逸子と語る夢の家 無料 全日
長谷川逸子（主催：すみだ生涯学習センター ユートリヤ 共催：NPO 建築とアートの道場　すみだ向島 EXPO 2020 実行委員会）〔ユートリヤ 1F 展示ギャラリー〕

建築家長谷川逸子が子供達と世界の家のスライドショーを見る。その後「夢の家」をテーマに皆で語り合う。（詳細：申込み方法はユートリヤ）期間中にアーカイブを上映。

⑭ 自由に集う建築とアートのトークカフェ【関連企画】 無料 全日
すみだ向島の風景を考える / すみだの力応援助成事業（共催：NPO 建築とアートの道場）〔ユートリヤ 1F 展示ギャラリー〕

建築家やアーティスト、地域住民と自由に集う建築トークカフェで座談会を行い、「隣人と幸せな日」というキーワードから、まちのコンセプトを紡ぎだす。自由参加。

⑮ アップデートプラネタリウム「20億光年への対話」 無料 全日
アップデートアーキテクツ 〔ユートリヤ 4F ドーム〕

18:00～最終入場 20:00

ドームの投影でさまざまな表現のテストをしたところ、人間の顔を巨人として表した際に最も身体性が感じられるということが分かった。星空を見上げる態度で時空を超え、巨人同士、または巨人と人間が対話するプロジェクト。機材協力：オリハルコンテクノロジーズ

東向島エリア

⑯ ドンツキどうしよう会議＠東向島 無料 不定期
ドンツキ協会 〔旧 M 邸（東向島 5-16-9）〕

東向島駅や水戸街道からほど近い一角に、民家に囲われた細い路地のドンツキがある。そのドンツキの新たな動きと、住民にも知られざる空間の謎に迫るべく、研究部会を結成。これからのまちとの関わりかたを探究、提案に挑む。開催日時は web にて。

⑰ 空キ家ノヨリミチ 無料 土日
nof architects 〔旧 M 邸（東向島 5-16-9）〕

東向島にある築 45 年の空き家を改修中である。解体まで終えたこの場にこの先の空間を体現するため、モックアップ・設計プロセス・旧 M 邸周辺リサーチの展示を行う。過去と未来が混ざり合うことで建築と向き合う。開催日時は会期中土日全て。

明治通りエリア

i-2 七軒長屋
インフォメーション
〔明治通りエリア出発ポイント〕

【チケット交換所】
事前日時予約チケットをパスポートと交換、来場者登録を行ってスタート。
〔京島 3-13-5〕

⑱ 路地をひっそり噛み締める 全日
オカザキ恭和 〔八広の路地（インフォメーション 2 で指示書配布）〕

下町の町工場や愛しい薄汚さが残る八広の路地で、非日常へのワープ感ある場所を抽出。地図を入手のうえ、路地に立つ、眺める、座る、見上げる、踏み入れることで路地をひっそり噛み締めていただきます。

⑲ 京島あの時展 全日
キュレーション：澤谷理裕 〔七軒長屋 A,B〕

人は記憶を辿るとき、いまと「あの時」の感情を行き来する。本展では「京島のあの時」「京島があの時」、あるいは「京島はあの時」とこの土地の空気、風景に触れられる。作家の自宅を用いてキュレーションするグループ展。

⑲-1 京島、その時。 全日
アカリエダ

短編映画やミュージッククリップを制作してきた作家がこの町の場所と時間をとらえる。

⑲-2 京島、あの日。 全日
まつうらかほ

「悪」「物語」「恋愛」を軸に、変遷する京島を表現。かつての京島の風景を変化させる建築や人の動き、生活に焦点をあて、変化がもたらす住民の不満と、変化の原因となる問題を外側から物語として想像し、制作。

⑲-3 壁 全日
澤谷理裕

現代は壁の時代である。
物理的なものから見えないものまで、遮り、時には人に寄り添うものとしての壁がある。壁とはすなわち関係性であり、誰しもが自己の内面に壁を持っている。
壁を自己の内面と向き合うものと捉え今日も壁を築く。

⑳ オストラコンの庭／ゆびのかたりて 全日
佐藤史治＋原口寛子 〔七軒長屋 C〕

会場裏にあるプルートタンの壁、地表に散らばる貝や陶器の破片等から着想した映像作品と、2019 年に同じ京島で開催したワークショップの成果物をインスタレーションで発表する。

㉑ やさしい隣人・ウチダの神様と京島編 全日
ウチダリナ 〔七軒長屋 D-1F〕

コロナ禍の最中、祈り、長屋にこもり、粘土をこねながら己のなかの「神聖なるもの」に取り組んだ像を配置。隣人となる観客は、展示空間にあるメモを使って、見つけた「形」を描くことで、作家と見せ合いっこを共有することができる。

㉒ クロス／トーク 全日
大洲大作 〔七軒長屋 D-2F〕

隔離分断の今この時も、海を壁をこえ、重なり混じりあう、なにものかの音、なにものかへの声。長屋の一隅に、目には見えない「交信」を聴く。

㉓ 超時空サロン バーバーアラキ 不定期
髙田ユキヲ 〔バーバーアラキ〕

昭和から令和へと、時代をまるまる飛び越えた古き良き社交の場（＝バーバー、理髪店）にて、遠く離れた人達とオンライン会話。商品購入やサービスを受けられる「超時空サロン」としてバーバーアラキを復活させます。オープン日時詳細は未確認開通 !? 京島駅 web サイトにて

㉔ 京島長屋再生まちづくり展 無料 全日
明治大学山本俊哉研究室 〔sheepstudio〕

すみだ向島 EXPO の会場の多くは、最近リノベーションされた京島地区の 20 以上の長屋。その歴史を振り返りつつ、運営者や利用者の想いをパネルにしてビジュアルに展示。併せて大学院生らの提案の図面や模型を展示します。

㉕ 丁寧な問合い ー死と食と刀ー展示編 全日
EAT&ART TARO、後藤 佑介 〔旧邸稽古場〕

「間合い」は距離や時間などの意味を持つ概念。武道における大切な要素であり、食においても重要といえる。本展は、刀を扱う体験型プログラムに連動した映像インスタレーション等を展示する。

㉖ 東京（TOKEI）ー 東京（TOKYO） 全日
中里和人 〔八広の元建具屋〕

墨田区向島に残る、東京の原風景の特性を、明治期の幻の東京＝東京（トウケイ）と呼ぶ。元建具屋の工場、ガレージ、事務所に写真を配置し、この空気感を再生させ、〈東京原風景ミュージアム〉を出現させる。

京島文花エリア

i-3 小倉屋
インフォメーション
〔京島文花エリア出発ポイント〕

【チケット交換所】
事前日時予約チケットをパスポートと交換、来場者登録を行ってスタート。軒下京島エリア MAP 無料配布しています。
〔京島 3-50-12〕

㉗ 小倉屋改築作品「陽が差し込んだ風景」 全日
ヒロセガイ 〔小倉屋〕

廃墟など古くて困難な場所のリノベーションを行う美術家が、昭和で時間の止まった旅館のような小倉屋を壊すこと／残すことで新しいイメージを建築に現す。今後も残していく小倉屋改築作品。

㉘ だれかの いま／シアター 全日
居間 theater（東彩織、稲継美保、宮武亜季、山崎朋）〔小倉屋 2 階〕

劇場が、みなしばらく閉じた 2020 年。外出自粛でずっと居間にいた数ヶ月。お米屋を閉じた小倉屋さんで、だれかの居間・だれかのシアターに出会う場所をつくります。劇場や居間、「いま」どこかにいる人を想像する体験型の作品です。

㉙ 小倉屋改築作品「ウロボロスの庭」 全日
田原唯之 〔小倉屋庭 +1 階和室〕

キラキラ橘商店街の街路灯に付いた葛飾北斎の『富嶽三十六景』のパネル、また小倉屋のかつての庭石・富士山溶岩、母屋の障子の木組みに描かれた富士山という遠近法的な空間の繋がりを起点として、小倉屋の庭周辺の場所性を拡張する。

㉚ 梅里会員制浴場 全日
後藤大輝 〔京島屋梅里〕

３人個別浴槽で混浴可能。私設銭湯体験。待合の畳茶室でご一服を。記念撮影ポイント！　※撮影のみ可能。

㉛ 公園でベンチに寝転びながら、空を眺めていたい。 全日
タノタイガ 〔京島共同木工所〕

木工所開きアーティストレジデンス第一弾。ほぼ一ヶ月の間、「公園でベンチに寝転びながら空を眺めていたい」作家が長屋の木工所に昼間滞在しながら公開制作。毎週日曜午後に、ベンチを設置。
作家滞在11:00～17:00を予定。

㉜ 宿の家（展示ショートバージョン） 全日
北川貴好 〔平屋別館〕

家という装置を解体／再構成した作品、『宿の家』の一部仕掛けに、時間限定制で立ち寄りショートバージョンの訪問が可能。開放時間は 11:30-16:00。

㉝ 見えないものの存在 全日
角田晴美 〔ウラダナ〕

一軒家を壁一枚で二つの空間に隔てた平屋長屋では壁の向こう側の空間に存在するものの気配を感じる時がある。それは目に見えるものなのか見えないものなのか。見えないけれどそこに在るものをテーマに、コロナ禍にあるこの時に感じたものを作品にする。

㉞ ロマン美容室長屋つなげるプロジェクト 全日
小畑亮吾（サテライトキッチン）、飛田佳寿子（ウィヴァネストベンギン）〔ロマン美容室＆サテライトキッチン〕

四軒長屋の真ん中二軒を、カフェとアトリエとして繋げる計画が進行中。電車の窓外を流れていく景色のように、進行するリノベーションと日々変化していく作業風景を覗き見できるスポット。

㉟ 再現ハト屋プロジェクト 全日
紙田和代、筒井さやか、カワチキララ、鈴木拓哉ほか 〔ハト屋パン店〕

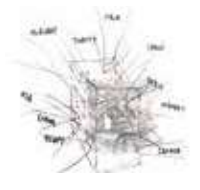
【スペシャル特典ポイント】
鑑賞券をお持ちの方はかならずご提示を。コッペパンが貰えます。本 EXPO 期間を通じて、改修模型の展示および古いお店にあったガス窯やパン焼き道具を展示。会期後半の1日は、店舗の壁塗りワークショップ。

㊱ KAB Art Book Camp 展 全日
キュレーション：嘉藤笑子 / 萩原朔美、出月秀明、河地貢士、栗山斉、バルコ木下、松本力ほか 〔KAB Library and Residency〕

アートブックの空間でアートブックキャンプの講師陣の小作品展示とアートブックの創作断片を展示。

月火木は 10:00-18:00
金曜は 10:00-16:00
土曜と 9/20,21 は 13:00-16:00
日曜と 9/22 は 13:00-18:00

㊲ The world at home in Mukojima 世界の人々がくつろぐ向島 全日
ティトス・スプリー 〔float 文花 2-6-3〕



90 年代後半から向島エリアは世界中から注目を集める。さまざまな文化的背景を持つ人々が、迷路のような路地に迷いながら、街の雰囲気に感銘を受けたのはなんだろうか？インスタレーション作品では、彼らの経験を共有する。

㊳「小屋の冒険」Adventures of a tiny house 全日
ティトス・スプリー 〔ティトス邸〕

向島のアイデンティティを破壊する、過度に大きな都市開発プロジェクトへの反撃として 2009 年に制作された「小屋」が、その後海外を冒険して得たものをシェアする。冒険した「小屋」の窓辺から作品のスライドショーを観ることができる。

㊴ 墨田現代風俗画を描く 全日
海野良太 〔文花会館 1 階 II Bstudio〕

クラウドファンディングの賛同者、出会った人びととの交流や取材をもとに会期中、作家のアトリエにて公開制作。クラファンリターンとして大きな絵画の一部に参加し、「繋がり」を感じてもらいたい。
※賛同者募！
https://www.ryotaunno.com

㊵ 中西飯店 道也分室 土曜
中西道也 〔文花会館 2 階、倉庫〕

①戦前からこの街の様子を眺め続けてきた建物と中西氏の対話から生まれた空間の体験 " 味わう空間 "9/12 19 26 夕方から文花会館在室
②倉庫期間限定ガレージセール。現場から出た 建具 板 小物など ... 土曜 昼開催（②web にて事前予約）

㊷ 街中あそび・まちなか植物工場 無料 不定期
千葉大学工学部デザイン学科環境デザイン研究室〔たちばな館〕

京島地区を対象とした遊び環境デザインとまちなか植物工場を提案。

㊸ すみだアカデミックハウス 無料 不定期
千葉大学鈴木弘樹研究室〔アカデミックハウス〕

築 90 年長屋の土間空間を活用した、鈴木弘樹研究室の活動の展示。

押上駅エリア

㊹ 移民の夢 全日
三宅哲平〔Alternative Entrance Tokyo 押上 3-25-17〕

コロナ禍で空室となった多くの部屋を使って、新作「移民の夢」および近作を展示。国家の建前として移民を認めないことで、等閑視された権利問題を可視化すべく、渦中の新たな隣人、留学生や技能実習生に直接コンタクトをとり、制作。
11:00-17:00 のみオープン。

点在エリア

㊺ 移動β 全日
樋口 裕一 〔場所は Twitter/@gakuyatai にて更新〕

「井戸端」を現代版にアップデート／再構築することで、新たなる隣人の形を探る。漂流するリヤカー屋台に集いお茶を呑むという現代版「井戸端会議」の体験を通じ、昔ながらの地域共同体の在り方といまを照らし合わせる。

㊻ ブラシモン「隣人 100 人プロジェクト」 不定期
小野志門（セカイ）＋ゲスト隣人ナビゲーター：村上奈津子
EXPO 公式 youtube で配信 〔向島 EXPO の対象地域全体〕

街の魅力や EXPO の見どころについて、独自の切り口で日々発信する街歩き Youtube 企画。地元の人々やアーティストへのインタビュー、"様々な" 所縁のゲストとの対談を通して、あなたの知らない京島のディープな魅力をお届け！

㊶ 中西道也常設展示会場 全日
中西道也 〔文花会館 2 F〕

古民家改修 現場 アトリエ 生活 インスタレーション

㊼ 路地ダンスバトン 不定期
オカザキ恭和＋ダンサー 2~3人〔会場近くの路地〕

路地や展示物など、環境からインスパイアされた瞬間的な非言語肉体表現＝ダンス。

㊽ 北斎さん、引っ越してきた人の長屋生活を配信中 無料
主催：京島長屋文化連絡会　企画：住中浩史
オンライン http://www.suminaka.net/hokusaicamera

【すみゆめ連携企画】長屋でクリエイティブな生活を楽しむ人びとを見せるアートプロジェクト。彼らの自宅の「創造的でゆるやかな長屋生活」を、カメラを担いだ葛飾北斎の人形が撮影し、ライフスタイルを作文とともに動画配信。EXPO 期間中 18 日間 19:00-19:10 配信。

㊾「迷宮と牛」墨田京島編 不定期
ブリコラージュ研究所 旧邸庭

ギリシア神話のミノタウロスと迷宮を手がかりにした隔離と出会いについてのパフォーマンスです。10/3(土)12:00-18:00

㊿ 北條式足踏みアルコール噴霧器 全日
北條工務店 各会場入り口

墨田区の大工さんが開発した木製足踏み噴霧器でコロナ対策。

連携拠点

すみだ向島エリアに、それぞれ独立した活動拠点を持つ隣人たちの企画を紹介 ※詳細はホームページをご覧ください。

- ⓐ Token Art Center「赤羽史亮個展」9/19(土)~ 10/11(日) 土・日・祝日 12:00- 19:00 開場〔東向島 3-31-14〕
- ⓑ gallery hydrangea「網代幸介 個展 ーそれはまぼろしー」9/17(木)~ 9/27(日)※9/17(木) は完全予約制、「公募グループ展 ―戯の森―」10/1(木)~ 10/11(日)
  「坂上アキ子 個展 ―月光―」10/15(木)~ 10/25(日)　火・水は定休日 / 13:00~18:30 ※最終日は 17:00 まで〔東向島 1-3-5〕
- ⓒ Reminders Photography Stronghold「公募展 -COVID-19 パンデミック -」9/12(土)~ 9/27(日) 13:00- 19:00 / 不定休　詳細：HP (https://reminders-project.org/rps/ja/) ※予定は変更する可能性あり〔東向島 2-38-5〕
- ⓓ gallery TOWED「佐藤絵莉香 個展 ーえのぐぬりとサテライトー」9/12(土)~ 9/22(火・祝)
  「グループ展：川邉真生、高橋稜、田中昌樹、藤山恵太」10/4(日)~ 10/24(土)　土・日・祝日 13:00- 20:00 開場〔京島 2-24-8〕
- ⓔ 文華連邦 Marginal Studio 及び あをば荘にて 綾野文彦、三田村光土里、間庭裕基「室内写真 -Camera Simulacra-」9/12(土)~ 9/27(日) 土・日・祝日 14:00-20:00 開場　入場料：500 円 ※学生証提示により 200 円〔文花 1-12-10-103〕
- ⓕ 仮面屋おもて 土・日 12:00-19:00 オープン〔京島 3-20-5〕
- ■ ファンタジア！ファンタジア！ー生き方がかたちになったまちー　詳細：HP (http://fantasiafantasia.jp/)
- ■ 帰ってきたキューピットガールズ（地域密着型アイドル）　活動日：第 1・3・5 週土曜日 14:00-、第 2・4 週日曜日 12:00-、9/27(日)7:00 から商店街の朝市お掃除、第 4 日曜日 12:00- YouTube ライブ〔キラキラ橘商店街〕